



取扱説明書

ガムテープディスペンサー EG100



目次

1. 概要	1
1.1 各部の名称	1
1.2 基本仕様	1
2. 設置	2
2.1 ロールサイドプレートの装着	2
2.2 ブラシ・アセンブリ	3
2.3 給水ボトル	4
2.4 テープガイドプレートの装着	5
2.5 テープの通し方	5
3. 操作方法	7
3.1 操作開始	7
3.2 キーパッドの操作	8
4. トラブルシューティング	12
5. メンテナンス	14
6. 保証期間	16

はじめに

この度は、弊社ガムテープディスペンサー EG100 をご購入頂きましてありがとうございます。
本取扱説明書には機械を正しく安全にご使用いただくための使用方法が記載されています。操作を始める前に必ず本取扱説明書をお読みください。

安全にご使用いただくために

- 必ず本機の定格ラベルに表示された規格の電源を使用してください。電源コードは必ず本機に同梱されている電源コードを使用してください。
- 電源は確実に接地されていることを確認してください。
- 本機の移動および運搬に際しては、内部配線の断線またはショート等に注意してください。
- 安全装置のスイッチを切ったり、取り外したりすることは避けてください。
- 警告ラベルを剥がしたり、覆ったりしないでください。
- 作業エリアを清潔に保ち、障害物がないようにしてください。

警告

- 機械の作動中は、回転部分に触れないでください。
- サービス技術者以外による、上カバーおよび右サイドカバーを開いてのメンテナンスは避けてください。
- メンテナンス時にカッターに手を触れることは絶対に避けてください。



- 高温部に手を触れないでください。



- 次のような場合には、直ちに電源を切ってください。
 - 給紙口内で紙詰まり発生
 - 機械内部で異音発生
 - その他の異常発生

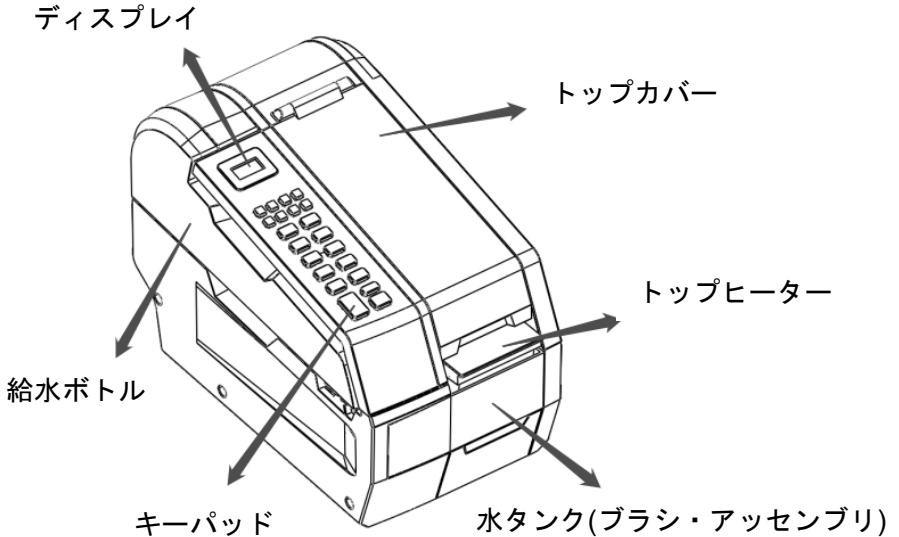
免責事項

メーカーおよびその正規代理店は、以下に示すような本機または本取扱説明書に記載されている警告または注意事項に従わなかったことに起因する事故または損害については、その責任を負いません。

- 本機の不適切な使用またはメンテナンス
- 本取扱説明書に記載されている以外の用途または条件での使用
- 許可されていない部品の使用
- メーカーの許可を得ないで行われた修理または改造
- 以下に示す本機への許可されていない機能変更：
 - コントロールシステムの変更
 - 溶接や物理的な処置を加える
 - 本体またはコントロールシステムの拡張
- メーカーおよびその正規代理店は、以下に示す損害については、その責任を負いません。
 - 本機のエラーまたは誤動作によって引き起こされた間接的な損害（製品の損傷、製造の中断、遅延等）

1. 概要

1.1 各部の名称



1.2 基本仕様

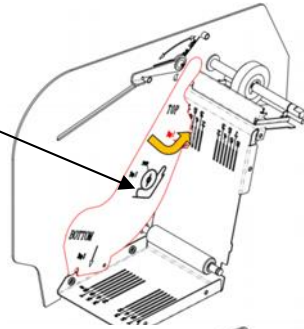
モデル	EG100
電源	100V
消費電力	200W
サイズ	450 x 240 x 330mm
重量	12kg
テープ長さ	13~300cm
動作温度	0~75°C
同梱品	電源コード、取扱説明書、レンチ x3、 ヒューズ、サイドプレート x2

2. 設置

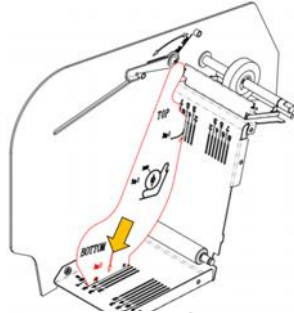
2.1 ロールサイドプレートの装着

- (1) 使用するテープ幅に合わせてロールサイドプレートを正しい位置に装着します。
- (2) ロールサイドプレートの上の部分を本体上部のスロットに差し込みます。

ロールサイドプレート

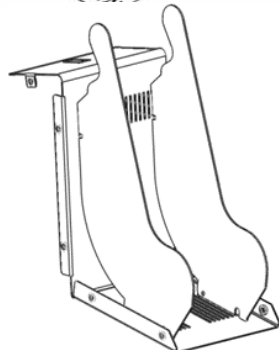


- (3) ロールサイドプレートの下部分を本体下部のスロットに差し込みます。



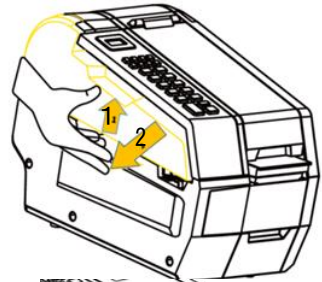
- (4) 同様に反対側のロールサイドプレートを装着します。

両側のロールサイドプレートは、テープとの間に少し隙間をあけてガムテープが機械の中央に位置するように調整します。



2.2 ブラシ・アセンブリ

- (1) 最初に給水ボトルを取り出します。
(水を溢さないように注意)



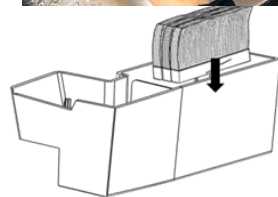
- (2) 次にブラシが装填された水タンクを取り出します。



- (3) ブラシを取り出し、毛先を手でほぐしながら流水にて十分にブラシを水で濡らしてください。



- (4) ブラシの毛の短い方を内側に向けてブラシを水タンクに装着します。(5.メンテナンス参照)



- (5) ブラシ全体が濡れるようにブラシ上面に向けて水をかけます。

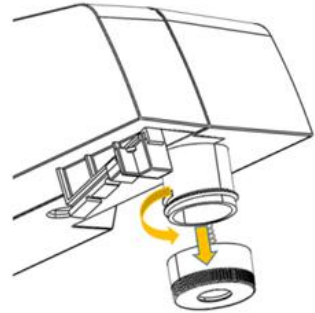


- (6) ブラシ付き水タンクを元の場所に戻し、給水ボトルを元に戻します。

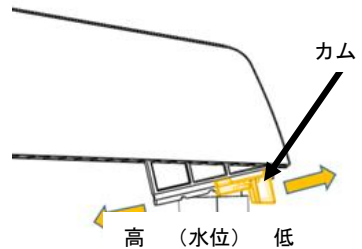
2.3 給水ボトル

- (1) 給水ボトルを取り出します。
- (2) 給水ボトルのキャップを開いて水を入れます。

注意：給水ボトルのキャップに取り付けられているスプリングとシールリングを落とさないように気をつけてください。



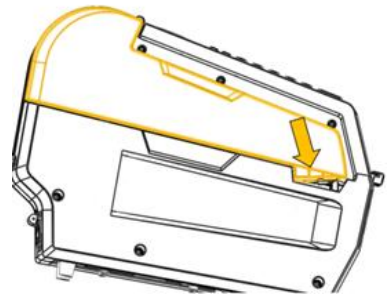
- (3) 給水ボトルのキャップをしっかりと閉じ、キャップを下側に向けても水が漏れないことを確認してください。
- (4) 右図に示すカムを使用して水タンクの水位を調整します。
通常、水位調整はカムの位置を一番高い方に調整します。



- (5) 給水ボトルを本体に装着します。

- (6) 水位を調整してテープへの水付き具合を調整します。

- 高水位 :テープへの水付きが多くなります。
- 低水位 : テープへの水付きが少なくなります。

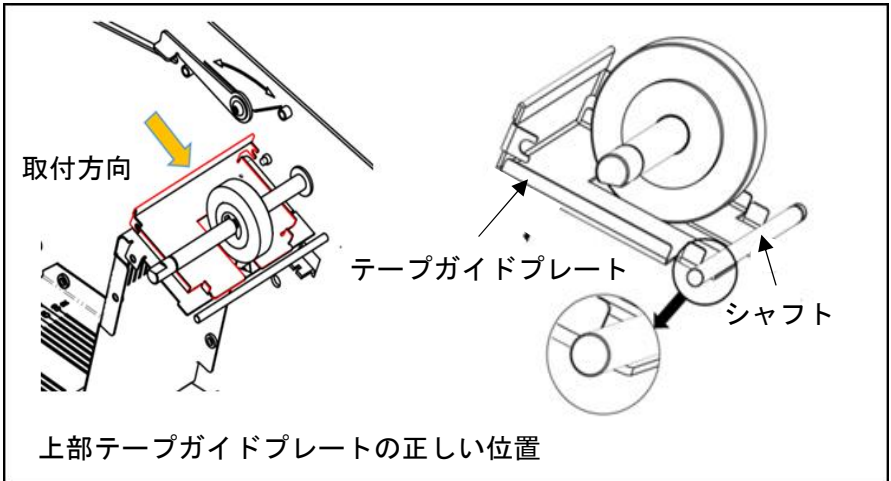
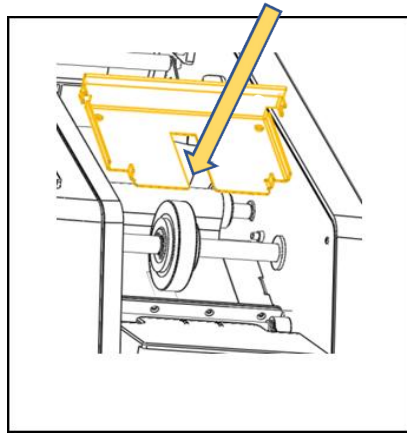


2.4 テープガイドプレートの装着

テープガイドプレートの上下の向きが正しいことを確認し、下記の図に従って装着します。

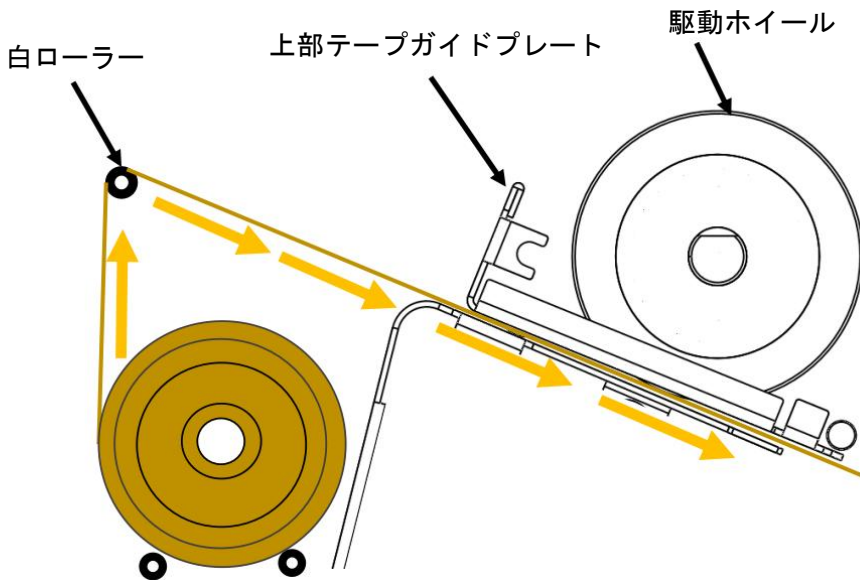
装着する際、テープガイドプレートの先端がシャフトの下に入るように装着します。

テープガイドプレート



テープの先端をハサミで直角にカットし、駆動ホイールの下を通り易くします。

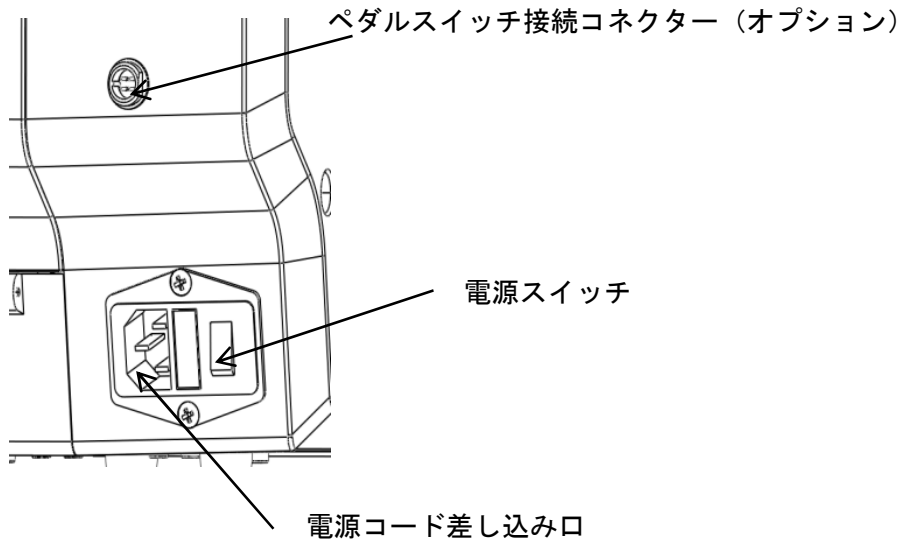
- (2) 上部テープガイドプレートを外します。
- (3) テープを駆動ホイールの下に通し、カッター刃に当たるまで送り込みます。
- (4) 上部テープガイドプレートをセットします。



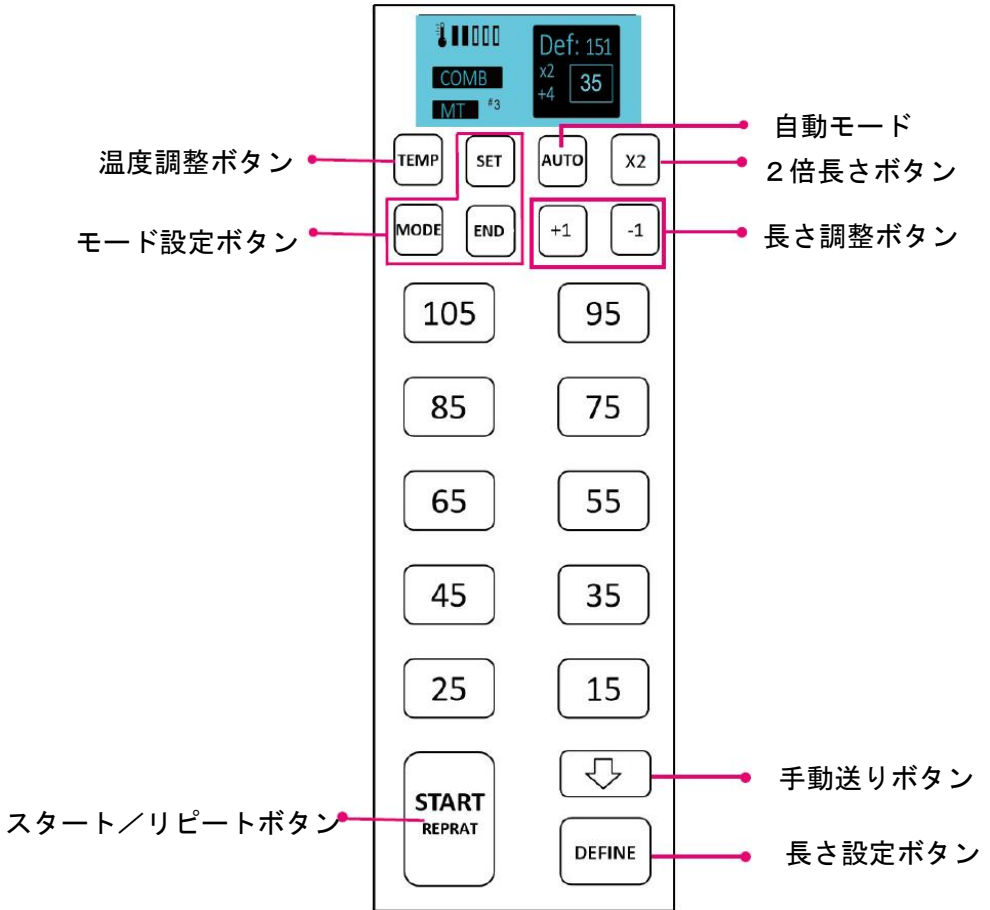
3. 操作方法

3.1 操作開始

- (1) 電源コードを本体に接続します。
- (2) 電源スイッチを ON にします。ランプが点灯します。




3.2 キーパッドの操作



(1) 温度調整手順

0 から 5 の 5 段階でヒーター温度が調整できます。0 設定ではヒーターが作動しません。通常、夏は 1 に設定し、冬は 5 に設定します。

- 温度調整ボタン (TEMP) を一度押す毎に 0 から 5 の順に表示されます。
- 周囲温度 10℃以下では 5 に設定します。
- 周囲温度 20～25℃では 3 に設定します。
- 周囲温度 37～40℃では 1～2 に設定します。

注意 :ヒーター温度が正しく調整されるとガムテープ(以下テープ)はケースに素早く貼り付きます。ヒーター温度が低いと貼り付くまでに時間がかかります。

(2) 数字ボタンに表示された長さのテープを繰り出すには次の操作を行います。

- 45cm の長さのテープを繰り出す場合 : 45 ボタンを押します。
- 95cm の長さのテープを繰り出す場合 : 95 ボタンを押します。

(3) 数字ボタンに表示されていない長さのテープを繰り出すには次の操作を行います。

- +1、-1 または X2 ボタンを使用して長さを調整します。

例 : 長さ 17cm のテープを繰り出す場合は、+1 ボタンを 2 回押してから 15 ボタンを押します。

例 : 長さ 24cm のテープを繰り出す場合は、-1 ボタンを 1 回押してから 25 ボタンを押します。

例：長さ 72cm のテープを繰り出す場合は、最初に X2 ボタンを押し、次に + 1 ボタンを 2 回押してから 35 ボタンを押します。

(4) 直前に繰り出されたテープと同じ長さのテープを繰り出す場合は次の操作を行います。

- リピート (REPEAT) ボタンを押します。この操作は特に + 1 または X2 ボタンを使用して長さを調整した場合に便利な機能です。このリピート (REPEAT) 機能は標準長さボタンを押した後にも使用できます。

(5) 任意の長さのテープを繰り出す場合は次の操作を行います。

- 手動送りボタン (↓) を必要な長さが繰り出されるまで押し続けます。
- 手動送りボタンを使用して繰り出せるテープ長さは、手動送りボタンが押された時間により 13cm~300cm の範囲で調整できます。

(6) 長さ設定ボタン (DEFINE) を使用して必要な長さを設定することができます。

例：常に 115cm の長さのテープを繰り出したい場合は、最初に X2 ボタンを押し、次に + 1 ボタンを 5 回押してから 55 ボタンを押し、長さ設定ボタンを画面に 115cm が表示されるまで長押しします。これで 115cm の長さ設定が完了し

ます。長さ設定ボタン又はスタート/リピートボタンを一度押す毎に 115cm の長さのテープが繰り出されます。

(7) COMB モードでは異なる長さのテープを連続して繰り出すことができます。

例：15cm、35cm、55cm、115cm の順に異なる長さのテープを続けて繰り出す場合は次の操作を行います。

- モード設定ボタン (MODE) を押して画面に **COMB** を表示させます。
- SET ボタンを押してから 15、35、55、X2、+1 (5 回押し)、55 の順にボタンを押し、最後に END ボタンを押します。
- スタート/リピートボタン (START/REPEAT) を押すと 5cm、35cm、55cm、115cm の順に異なる長さのテープが繰り出されます。
- モード設定ボタン (MODE) を再度押すと固定モード (FIXED) に戻ります。

(8) AUTO ボタンを押して任意の数字ボタンを押すと、テープが取り出される毎に設定された同じ長さのテープが自動的に繰り出されます。AUTO ボタンをもう一度押すと、AUTO モードは解除されます。本モードは COMB モードまたは固定モード (FIXED) と併用して使用することができます。

4. トラブルシューティング

エラーコード		
コード	症状	処置
E01	出口にテープ有り	機械内に紙詰まりが無いかチェック。紙詰まりがあれば除去。
E02	出口にテープ無し	自動モード実行時、テープが巻き戻され駆動ホイールでテープを送れているかをチェック。テープを正しく装填する。
E03	モーター異常	詳細については下記の「E03 エラーに対する処置」を参照。
E04	カバーオープン	カバーを閉じて磁気センサーの位置を確認する。

E03 エラーに対する処置：

- (1) 駆動ホイールが正常に回転しているかチェックしてください。駆動ホイールが正常に回転している場合は(3)の手順に進んでください。
- (2) 駆動ホイールが回転しない場合はモーター不良のため、モーターの交換が必要です。販売店にご相談ください。
- (3) 駆動ホイールが正常に回転する場合はセンサーが不良のため、センサーの交換が必要です。販売店にご相談ください。(センサーを交換しない場合は、タイマーモードに切り替えての使用が可能です。MTモードでSETボタンを長押しすると、パスワード入力画面が表示されます。パスワードは

95	55	25	75
----	----	----	----

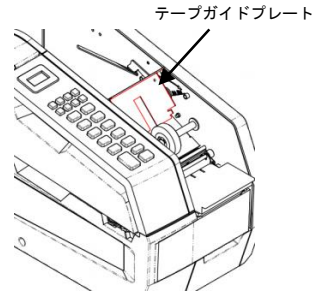
 の各数字ボタンを入力してENDボタンを押すと管理者画面が表示されます。管理者画面でセットボタンを1回押す度にENCODERモード表示とTIMERモード表示が交互に表示されますので、TIMERモードを選択してENDボタンを押しホーム画面に戻ります。(但し、TIMERモードではテープの長さが±5cmの範囲でばらつきが出ます。)

紙詰まりの除去：

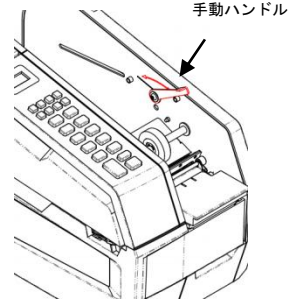
テープがカッター刃付近で詰まる場合は、次の手順で紙詰まりを除去します。

(1) 電源を OFF にし、電源コードを抜いてください。

(2) テープガイドプレートを外します。



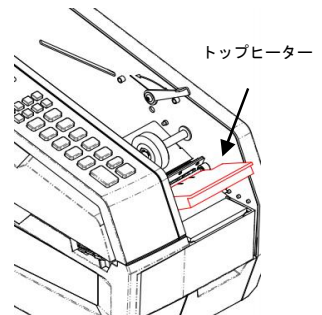
(3) カッター刃を手動ハンドルで持ち上げます。



(4) テープガイドプレートの下に残留テープを取り除きます。

(5) トップヒーターを持ち上げて残留テープを取り除きます。

(6) テープガイドプレート、手動ハンドルおよびトップヒーターを元の位置に戻します。



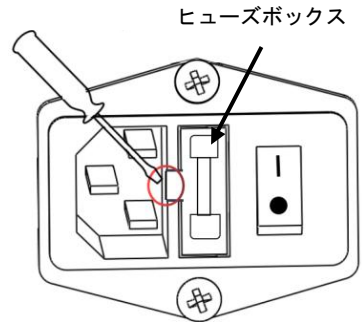
ヒューズの交換：

電源コードが正しく接続されていても機械が作動しない場合は安全スイッチが働いていると考えられます。トップカバーが正しく閉じられていると安全スイッチは解除されて機械は作動します。他の箇所をチェックする前にトップカバーが完全に閉じられていることを確認してください。トップカバーが完全に閉じられていて、電源スイッチを ON の位置にしても機械が作動しない場合はヒューズが切れている可能性があります。

ヒューズの交換手順：

- (1) 電源を OFF にして電源コードをコンセントから外します。
- (2) 電源スイッチ左側のヒューズボックスの蓋をマイナスドライバー等でこじ開けます。
- (3) ヒューズを交換します。本機に適合した正しいヒューズについては販売店にご相談ください。

注意：間違ったヒューズを使用すると故障の原因となるのでご注意ください。



5. メンテナンス

本機の使用に際して必要なメンテナンスは殆どありませんが、常に良い状態で機械をお使いになるために次のメンテナンスを行ってください。

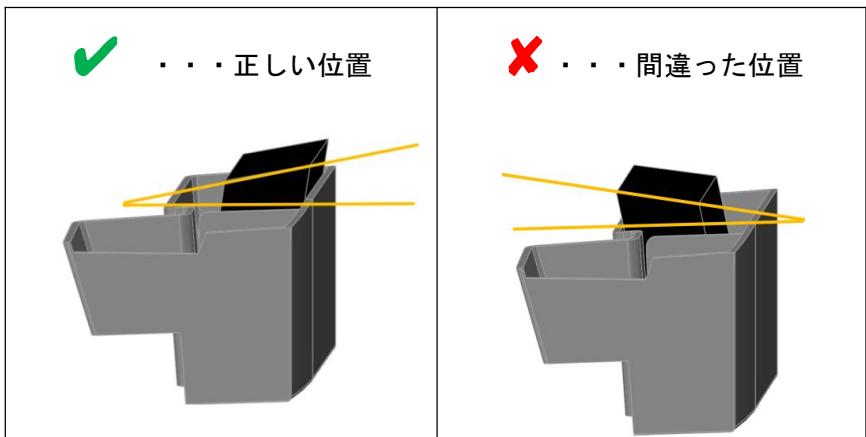
基本的メンテナンス：

(1) 給水ボトル、水タンクおよびブラシの清掃

ブラシ：テープののりが蓄積し、水つきの効果が低下する場合があります。ブラシは週に一度ぬるま湯又は中性洗剤等で洗ってください。

警告：固まったのりを除去するためにブラシの先端をカットしないでください。ブラシの先端をカットするとブラシが短くなり、テープへの水付きが悪くなります。

注意：ブラシは水タンクの上面に対して平行且つ前面が高くなるように装着してください。



(2) カッター刃の清掃

カッター刃にのりや埃が付着しているとテープが正しく切断されません。カッター刃に付着したのりや埃は完全にに取り除いてください。

警告：機械の清掃を行う前に必ず電源を切って、電源コードを抜いてください。

定期メンテナンス：

毎週

- 水付けブラシをぬるま湯又は中性洗剤等で洗い、水でよく濯ぎます。
- ガムテープの通り道にあるテープカスや紙粉を取り除きます。
- 水タンクを洗剤で洗い、よく濯ぎます。

毎月

- 濡らした布・タオル等を使用して、カッター刃に付着したのりを取り除きます。

注意：刃は鋭利で切れやすいので、取り扱いには十分注意してください。

- 刃の裏側に油を薄く塗布してください。

毎年

- 蓄積されたテープのカス、埃、その他の異物を機械内部から完全に取り除きます。
- ヒーター板と圧カプレートに溜まったのりのカスをきれいに除去します。
- 移動刃と固定刃に油を薄く塗布してください。
- 湿らせた布でカバー全体をきれいに拭きます。

6. 保証期間

ご購入1年以内に発生した故障につきましては、無償にて修理対応させていただきます。但し、お客様のお取り扱い違いが原因による故障、機械の落下、天災による損傷などの本機の不良によるもの、ブラシ等の消耗品は除外させていただきます。本書で言うところの1年間とは、1日8時間稼働を基準としています。（例：24時間稼働の場合、4ヶ月間）

